

グループトーク「私たちは原子力とどう付き合うか」

A班：7人（視察メンバーである竹中氏を含む）

竹中：じゃあ、今度は逆周りにしましょうか。

—— 原子力とどう付き合えばいいかというと、私は別に仕事でも付き合っていないのですけれども、原子力事業からの撤退自体はしないで、研究はしていくべきだと思います。

—— 原子力発電ではなくて、原子力？

—— そうです。それはしていかないと駄目だと思っています。

ただ、戦争で核が使われているのはすごく寂しいし、そういうのは嫌ですね。常任理事国だけ核を持っていいという話だけど、誰も持たなければいいのでは、と思っています。

—— やはり付き合うのは「人」かな、という感じがしていて、産業のひとつなので、町のことを一緒に考えられる人と住みたいなと思います。結局人が増えるということだけで、あまり考え切れていないのですけれども。

—— 原子力はもう身近なものになっていると思います。

それから、これは東海村だけではなくて、もっとすごく広い範囲の話なのですけれども、もし原子力施設が日本になかった場合、今のような生活ができるのか、というところはあると思います。例えば、東海村にはこれだけの原子力施設がありますけれども、それがなかった場合、村が存続できているかどうか。そういうことまで考えると、いろいろあるなと思います。

—— 過去のこと？ 将来のこと？

—— 将来のことも含めてです。

—— どちらかと言うと、原発について書きました。今あるものを急になくすことはできないし、しばらくは共存。後に縮小。で、ゼロは難しいかなというのが今の感想です。

先ほど木村先生がおっしゃったように、「絶対安全」はないはずだから、もっと事故について語る機会を作るべきだろうと。原発賛成の人の中にも、絶対安全だから賛成と言っている人は、いるかもしれないけれども、そうは思っていない人もいます。もうちょっとそういうところをお互いに話し合う必要はあるかなと。賛成している人は全員絶対安全だから賛成している、と反対派の人は思っているような気がするし、

—— そうではないですよ。

—— あ、そうではない人もいるし、そういう人もいると思うので。断絶はよくないというか、語る機会、話し合う機会はあったほうが良いと思います。

あ、これも貼ったほうが良いですか？ やはり「平和利用」は絶対だなと。特に日本に関しては。以上です。

—— まとまらなかったのですけれども。(原発が)稼働しなくても電力が供給できていて、日本という区切りで言えば、震災直後の計画停電もなく今までやってこれたこともあるので、そういったことを根拠に、これからも逆に自分たちの消費するエネルギー自体をもう少し減らしていけばいいのではないかと。絶対安全ではないというものを新規に作ったり、再稼働したりではなくて、今の暮らしをもう 1 回見直すことも必要としたほうが良いかなと思います。

—— 基本的に原発は世界的にもう時代遅れである。

グローバルな視野を欠いて原発を推進する政府というのは、もうほとんどガラパゴス化しているなということです。世界的に見ても、地域住民や事故のことをあまりちゃんと考えていないところがあります。

同じことですが、核のごみの見通しもないままに推進するのは何と愚かだろうか、なんと無責任だろうか。

それは将来世代に対する責任を果たしていないということになる。将来世代に対する責任を果たせることが大前提だということです。ごみを残すとか、廃炉技術だとか、そういうものがまともにもできていないのに、また動かすと言っている。その無責任さはあまりにもひどいと、私は非常に腹立たしく思っています。

再生可能エネルギーなどの研究に力を入れれば良いのに、そういう研究を邪魔して、原発推進に行っている政府の方針はあまりにもひどいということで、憤っています。

地域について言えば、大間もそうだし、東海もそうだけど、原発が 10 年後、20 年後になくなった先のことを考えられずに、いつまでも原発の利益が続くような、地元の人に夢を持たせるような説得の仕方はおかしいわけで、電力会社の人も地元の人に都合のいいことしか言っていないだろうと思うのです。だから、どうしても作るのだったら、東京・大阪に作れと。それができないのだったらやめろと。東海を動かす、動かさないじゃない。東海を動かすのだったら東京に作れと。それだけの話です。

最後は、コンコルドの誤りと書きました。ここまでやってきたのだから、せつかくあるものだから動かしたほうが良いのではないかとか、あるいは、ここまで金をかけたのだから今更やめるわけにはいかないとか、しみつたれたことを考えていないで、思い切ってやめると

というのが、本当は最終的にはプラスになる。コンコルドというフランスの飛行機が、途中でやめずに続けたために、負債が大きくなって大変になったということですがけれども、そういう考え方が根本的に欠けているのではないか。

他にもいろいろ意見があるのでありますが、ここまでにしておきます。

竹中：私は、原発はいいところも悪いところもあって、なかなか個人として意見が決めきれないところもあるのですけれども、グループトーク前半の話を聞いていて、私になるほど思ったのは、決まったから考えなくていい、ではなくて、決まったことに関して考え直す機会をどこかで持つことは大事なのだろうなということです。

ただ、それと同時に、今あるものを急にはなくせないという意見もあるし、今までに決まったことを全部ひっくり返していいかという、それもまた違うのではないかと思います。ここまでの土台はもう決まってしまったことだから、今回はこの土台のことは置いておいて、そこから先を考えましょう、というふうに、土台の位置をいろいろずらして考えていく。今日は本当に一番根本のところから考え直しましょうとか。いろいろ考え直すベースを変えて、いろいろな話し合いの機会を持っていかないといけないのかなと思いつつ、ただ、そういう話し合いを反映しなければ意味がないので、どのように考え直していけばいいかというのはすごく難しいなと思っているところです。

他に、まだ貼っていない付箋がある方はいらっしゃいますか？ そうするとフリートークの時間です。お互いの類似点、相違点、今の話を聞いてこういうところはこう思いますとか、どうですか？

—— 原子力について書いているものと、原発について書いているものがあるので、原発は原発でくっつけますか？

—— 平和利用というのも、結局は原発推進のために利用されている部分もあるので。「核兵器でなければ平和利用」と単純には言えないところがあるというのは先ほど言った通りです。つまり、核兵器を作るために原発を動かすという本音が政府にあたりするので。

—— 技術的にはできなくても、「そのために（核兵器を作るために）やっているんだ」ということを言う人が、政府のお偉いさんの中にいるというのは、本当はよくないかもしれないですね。

—— でも、本音はそうです。医療科学などは大切かもしれないけれども、何兆円もかけて新しいタイヤを作りました、というのも違う気がします。お金のかけ方の問題もある気がします。

—— なんか、そこまでしていく必要があるのかなと。ゲームで言うと、昔のファミコンはボタンが少ないものでも十分だったじゃないですか。

—— リニアモーターカーとかもね。

—— 開発にすごい時間がかかっていますからね。

—— この「絶対安全」云々というの、先ほども少しありましたがけれども、(事業者は)絶対安全はあり得ないと言うのですよね。だから少々のリスクは覚悟しろ、みたいな言い方になっていくのは恐ろしいなと思うのですけれども。

—— 雇用が増えるのはすごくいいことだと思っています。若い人がどんどん(外に)出ていく可能性もあるし。大きな事業所があるのはいいなと思うのですけれども。

—— ただ、私は、原発だけは別だと思います。危険性という点では。他の大きな事業者だったら考えるのですけれども、住民が避難計画を考えなければいけない事業者って、どう考えても常識外れじゃないですか。何かあったら事業者が何の金も出さない、というか金がないのだけれども、しかし避難だけはさせると。そんな無茶な話があるかと。それになぜ皆は腹を立てないのだろう。そこも不思議でしょうがない。

—— すみません、私は、今回、千葉県の方から来ているのですけれども。皆さんは東海村にお住いの方なのですか？

—— 東海村です。

—— 東海村です。

—— 東海村です。

—— ひたちなかです。

—— ひたちなかというのは近い？

—— 隣です。

—— 東海村ってどんな感じなのですか？

- でも、私は元々東海ではないので。中学生から東海です。
 - 移動してきた人は多いです。元々は1万人で、今は3万8000人です。
 - 原発ができて、1万人が4万人くらいになっているので。
 - そういう基本的なことを知らないので、ちょっと教えていただきたいのですけれども。
 - 大間も同じように増えるとはちょっと思えないなど。40年後に増えているとは思えない。
 - 先ほども、大間の地元の人が「反対派の人が来てあれこれ言うのは嫌だ」と言っている、という話があったけれども、私も地元として、外から来た人に「原発あってもいいんじゃないの?」と言われると腹が立ちますね。逆の意味で。地元には地元の、それぞれの思いがあるだろうけど。
 - うーん。
- 木村：それでは、グループトークはここまでにしておきましょう。

グループトーク Aグループ (2/2) 「私たちは原子力とどう付き合うか」

もう原発は世界的に時代遅れ。	グローバルな視点を欠いて推進する政府の無責任。	稼働せずに電力が供給できていたことを考えると、省エネルギー。	今あるものを急にはなくせない。しばらくは共存のち縮小。ゼロは難しい。	すでに原子力は身近なもの。
核のごみ処理の見通しもないまま推進することの愚。	将来世代に対する責任を果たせることが大前提。		「絶対安全」はないのだから、もっと事故について語る機会を作る。	原子力施設がなかった場合のことを想像できるのか。
再生可能エネルギーの研究に力を入れ原発に訣別。	その地域に原発がなくなった先のことを考えよ。		原子力の平和利用はマスト。	
どうしても作るのなら東京・大阪に作るべし。	コンコルドの誤りをつづけている。	決まったことを考え直すことが必要。	原子力も産業のひとつ。町のことを考える人と一緒に住みたい。	原子力事業からの撤退はするべきではないと思う。研究はするべき。
		どこから考え直すか、が難しい。	医療化学。	放射線、戦争の道具になっているのは可哀しい。